

# 安平町地域おこし協力隊員募集要項 (こどもにやさしいまちづくりプロジェクト)



令和6年12月



安平町

## 安平町地域おこし協力隊員募集要項 (令和6年12月27日募集開始)

### ■ まちの概要

安平町（あびらちょう）は、札幌市から約50kmの道央圏内、「北海道の空の玄関」新千歳空港から約17km（約20分）、「北海道の海の玄関」苫小牧港から約25km（約30分）に位置する人口約7,800人、面積237.1km<sup>2</sup>のまちです。

町内には、高速道路インターチェンジや札幌～帯広・釧路間を結ぶ特急列車も停まるJR追分駅があるなど、北海道内では比較的交通の利便性が良いまちです。

気候は、北海道の中でも雪が少ない比較的温暖な気候であり、太平洋沿岸にあるため年間を通じて晴天の日が多く、水害などが少ない恵まれた気象条件にあります。

地域の基幹産業は農業であり、GIレース9冠馬のアーモンドアイ、7冠馬のディープインパクトやジェンティルドンナなどの日本を代表する軽種馬の大産地であり、チーズ発祥の地を支えてきた酪農業や肉牛産業、アサヒメロンなどの労働集約型作物、なたね（菜の花）やそばなどの土地利用型作物など、地域特性を活かした北海道らしい豊かな農村が築かれています。

他方、まちづくりの重点に「子育て・教育」を据え、全国に先駆けて公私連携幼保連携型認定こども園を町内2か所に設置し充実した教育が行われていること、ユニセフが推進する「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体」として最初に認証された全国5つの自治体の一つであることに加え、令和5年度に早来地区で開校した小中一貫の義務教育学校「早来学園」では、地域の皆様のものでありながら気軽に関わってもらえる学校づくりを進めています。ソフト部分の魅力としては「あびら教育プラン」があります。これらの積み重ねが今、全国的に注目を浴びているところです。

以上を踏まえ安平町では、「こどもにやさしいまちづくりプロジェクト」として、より一層魅力ある教育まちづくりを進めるため、学校や地域と共に事業を進める各種分野の地域おこし協力隊を募集します。

#### 【関係資料】

##### ◇安平町総合計画

<http://www.town.abira.lg.jp/gyosei/sogo-keikaku>

##### ◇安平で安心子育て（「安平町としてのCFCIの考え方」ほか）

<https://www.town.abira.lg.jp/kosodate/anshin-kosodate>

##### ◇あびら教育プランと直近四半期報告

<https://www.town.abira.lg.jp/kosodate/asobimanabi/eduplan>

<https://www.town.abira.lg.jp/oshirase/3/17735>

##### ◇早来地区義務教育学校「早来学園」

<https://www.town.abira.lg.jp/kosodate/gakuen>

##### ◇安平町地域おこし協力隊紹介ページ

<https://www.town.abira.lg.jp/chiikishinko/chiikiokoshi>



## 1. 募集人数と活動概要

- ①教育情報発信を通じたまちづくり：1名
- ②高校魅力化コーディネーター：1名
- ③あびら教育プラン推進員 地域×学校協働プロモーター：1名

上記募集区分における背景、業務内容、求める人物像は次のとおりです。

### ① 教育情報発信を通じたまちづくりに取り組む地域おこし協力隊

#### 【背景】

安平町では、町全体で子どもたちの未来を支える「教育まちづくり」に力を入れています。教育は地域の未来をつくる重要な基盤であり、学校だけでなく、地域住民や保護者との連携が不可欠です。

しかし、学校や教育委員会が行っている施策や取り組みが、保護者や地域住民に十分に伝わっていない現状があります。SNSや広報紙を通じて情報を発信しているものの、よりわかりやすく深い情報発信が必要です。そこで、教育委員会が発行する教育情報誌の制作を含め、町の教育施策を地域全体に発信する活動を強化するために、地域おこし協力隊メンバーを募集します。この情報発信を通じて、教育まちづくりの理解と協力を深め、町全体が一丸となって教育の未来を支えていく基盤を築きます。

#### 【業務内容】

教育情報誌の企画・制作：教育委員会が発行する教育情報誌の編集、制作を担当し、町内外にわかりやすく情報を発信する。学校の取り組みや町全体の教育方針、地域での教育活動の特集する記事の執筆・取材なども行う。

SNSやウェブ媒体での情報発信：SNSやウェブサイトを活用し、リアルタイムでの情報提供を行う。特に、保護者や地域住民に向けて、教育に関連する最新の情報をわかりやすく発信する。

保護者や地域住民との連携：教育に関する情報発信の際に、保護者や地域住民からのフィードバックを収集し、彼らがどのような情報を求めているかを把握する。これに基づき、適切な情報を発信する仕組みを構築する。

イベント企画と取材活動：学校や地域で行われる教育関連イベントを取材し、報告記事を作成。イベントを通じて教育まちづくりを広める活動に貢献。

教育広報の改善提案：既存の広報活動（SNS、広報紙など）を見直し、効果的な教育広報の方法について提案・改善を行う。

#### 【求める人物像】

情報発信を通じて教育まちづくりに貢献したい方を求めています。具体的には、以下のような人物像を歓迎します。

- 文章作成や編集に長けている方：文章を書くことが好きで、わかりやすく、読みやすい記事を作成できる方。ライティングや編集の経験があれば尚可。
- 情報発信に積極的な方：SNSやウェブサイトでの情報発信に興味があり、リアルタイムで情報を発信することが得意な方。デジタルメディアに精通している方を歓迎します。

- 地域コミュニケーションが得意な方：保護者や地域住民とのコミュニケーションを重視し、彼らの声を拾い上げ、適切な情報を届けることに意欲がある方。
- 教育に対する関心がある方：教育分野に強い興味を持ち、教育の重要性や意義を理解し、それを広く伝える情熱がある方。
- 企画力と自主性がある方：新しい情報発信の方法やコンテンツを企画し、主体的に実行できる方。イベント企画や広報企画に興味がある方も歓迎です。

#### 【活動に関する詳細】

在籍場所：安平町教育委員会学校教育グループ

活動拠点：関係する機関として、主に次の場所が想定される。

ENTRANCE（JR追分駅前にあるコミュニティスペース）

まなびお（早来学園図書室）

教育委員会事務局（役場総合庁舎内）

## ② 高校魅力化コーディネーターとしての地域おこし協力隊

#### 【背景】

安平町にある道立追分高校は、地域に根ざし、持続可能なまちづくりの一環として、高校教育の魅力向上を目指しています。少子化が進む中、高校の魅力化は生徒の定住促進や地域活性化の鍵となり、特に「総合探究の時間」を活用して、地域の団体や住民との協働を進めています。

このプロジェクトでは、追分中学校との連携や、地域全体での生徒支援を通じて、生徒の資質・能力を伸ばすことが重要視されています。地域との深いつながりを築きながら、学校の魅力を高めることで、地域に根ざした教育環境を提供し、高校生たちが地域を知り、地域と共に成長することを目指しています。

そこで、地域と学校を結びつけ、高校魅力化を推進する高校魅力化コーディネーターとしての地域おこし協力隊メンバーを募集します。

#### 【業務内容】

総合探究の時間における企画・運営サポート：追分高校の「総合探究の時間」において、地域住民や団体との協働プログラムを企画・運営し、生徒の興味を引き出す学びの場を提供する。

追分中学校との連携：追分中学校との接続を強化し、中学校の生徒が高校生活や地域活動にスムーズに移行できるような取り組みをサポートする。

地域団体との協働活動の推進：地域住民や地元企業、団体と協力し、生徒が実社会での課題解決に取り組む機会を創出。地域資源を活かしたプロジェクト型学習やインターンシップの実施を支援する。

高校の魅力発信：SNSや学校広報などを通じて、追分高校の魅力や生徒の活動成果を地域や広く発信し、地域外からも関心を集める活動を行う。

地域教育資源の調査と活用：地域にある教育資源（文化、産業、自然など）を調査し、それらを活用した教育プログラムの提案・運営を行う。

#### 【求める人物像】

地域と連携しながら高校教育の魅力化に貢献したい方を求めています。具体的には、以下のような人物像を歓迎します。

- 教育分野での経験や関心がある方：高校教育、特に探究学習や地域との連携に興味があり、教育を通じて地域に貢献したい方。教育コーディネートの経験があれば尚可。
- 地域活動に積極的に参加できる方：地域住民や団体と積極的に連携し、地域の課題や資源を活かした活動に取り組むことができる方。地域社会との関わりを大切にされる方を歓迎します。
- 企画力と自主性がある方：総合探究の時間や地域との協働活動を通じて、新しい学びの機会を企画・実行する能力がある方。自らアイデアを出し、形にできる力を持つ方。
- コミュニケーション能力が高い方：生徒、教職員、地域住民など、多様な関係者と円滑なコミュニケーションを取ることができ、協働作業を推進できる方。
- 高校教育を地域の未来づくりに活かしたい方：教育と地域振興を結びつけ、生徒の成長と地域の発展を同時に進めたいという強い意欲を持つ方。

#### 【活動に関する詳細】

在籍場所：安平町教育委員会学校教育グループ

活動拠点：関係する機関として、主に次の場所が想定される。

追分高等学校

### ③ あびら教育プラン推進員 地域×学校協働プロモーター

#### 【背景】

『あびら教育プラン』は、児童期の成長過程に応じた遊びを通じた学び、自らの好奇心と探究心から得る学び、そしてそれらから得た学びを活かしてチャレンジするという4つ構成要素を持ち、子どもたちの認知能力向上のみならず、非認知能力をも意図的に支援しようという取り組みです。このプランは、令和元年度から事業化され、現在では学校教育内にもプランの要素を組み入れる橋渡し（合意形成と導入支援）も行っています。

- ・遊育 ～ 児童期前期における遊びを通じた学びのプログラム
- ・あびらぼ ～ 児童期中期における自らの好奇心と探究心を育むプログラム
- ・ワクワク ～ 児童期後期においてこれまでの学びを活かして好奇心や探究心を更に深めるプログラム
- ・アビラトークス ～大人を含めたアウトプット（チャレンジ）プログラム

他方、令和5年度に開校した早来地区義務教育学校「早来学園」では、ICT技術を最大限活用し児童生徒の安全を確保した中で、図書室などを日頃から住民の方にご利用いただく『地域開放（愛称：まなびお）』を実施しています。これにより、住民の方に気軽に学校施設をご利用いただき、地域と学校がより密接に繋がることで『協働』による子どもの育ちの支援をしようとするものです。

これを実現しようとする背景には、地域社会側の要請として「学社融合・学社連携」や「地域学校協働活動」という考え方が、学校側の要請としては「社会に開かれた教育課程」という考え方があります。これらに通底するのは、「児童生徒が未来を力強く生き

ていくためには、地域社会と学校がより強く手を取り合わなければ成しえない」ということがあると言えるでしょう。

地域の方が学校施設を自分の居場所と感じてもらい、あびら教育プランに地域の方の力を貸していただくためには、地域社会との深いつながりが必要です。そのためには、あびら教育プランのプログラムの実施や、図書室を地域に開放するだけでは実現しません。そのため、教育課程支援事業として地域の側から学校教育を支える仕組みも導入しています。

これらを現実のものとしていくためには、地域の方と積極的にかかわり強く太いパイプを築いていただく必要があります。地域の方に気軽に関わっていただく取り組みの企画立案や、地域と学校の橋渡しをしていただくための活動に、主体的に取り組むことのできる方のお力添えをいただきたいと考えています。

## 【業務内容】

CFCIの理念に基づく子どもの社会参画を特に意識しながら、次の任務に就いていただきます。

### 〔3大業務内容〕

#### (1) あびら教育プランのサポート

→ あびら教育プラン4要素事業のサポートを通して、これらの事業に精通したうえであびら教育プラン×地域の連携・協働を模索します。

#### (2) 教育課程支援事業の推進

→ 地域と学校をつなぐ本事業において、主に総合的な学習の時間を活用した町内全町立学校への支援により、地域資源を活用した授業・活動づくりを模索します。

#### (3) 地域×学校協働支援

→ 早来地区においては「まなびお」を核として、引続き協働を模索します。

また、もう一方の追分地域でもこうした動きがより加速していくよう、その支援を模索します。

## 【求める人物像】

安平町を愛し、そこに住む子どもたちを愛し、町の方が温かく支えてくれる教育文化を創り上げる気概を持つ方を求めています。具体的には、以下のような人物像を歓迎します。(重視順)

- 学校教育・社会教育の重要性を理解したうえで、地域と学校をより身近な存在として感じ合えるものにするためのビジョンをもって行動できる方
  - ステークホルダーとの連携を容易にする人間力に溢れ、主体性を持ちつつも、所属先に対する強いロイヤルティを持ってミッションに取り組むことができる方
  - 当町の特徴的取り組みであるCFCI・あびら教育プランを含めた子育て・教育施策に強い関心があり、かつ、地域コミュニティ形成・促進支援にも同時に強い関心があり、自らが情報発信して町の子育て・教育や地域コミュニティをブランディングできる方
- 前提となる考え方として、既にいる他のあびら教育プラン推進員達がこれまで築いてきたことをベースに、学校や地域との連携・協働を進める。よって、創造性(拡散的思考)と収束的思考をいづれも持ち合わせることがこの隊員のポイントである。

## 【活動に関する詳細】

在籍場所：安平町教育委員会学校教育グループ

活動拠点：関係する機関として、主に次の場所が想定される。

ENTRANCE（JR追分駅前にあるコミュニティスペース）

各町立学校（小学校1校・中学校1校・義務教育学校1校）

教育委員会事務局（役場総合庁舎内）

## 2. 応募要件

### <必須条件>

次の全ての要件を満たすことが必要です。

- (1) 地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方。
- (2) 3大都市圏をはじめとする都市地域等（総務省が公表する特別交付税に係る地域要件確認表において、安平町に転出した場合に特別交付税措置の対象となる地域をいう。）から生活拠点を町内へ移し、住民票を異動させることを了承する方。  
※現住所が都市地域等に該当するかどうかお調べすることも可能です。
- (3) 普通自動車免許を有している方（本人が使用者である自家用車を使用する方には車両燃料費補助制度があります。4-(3)-③をご覧ください。）
- (4) 安平町のCFCI・教育・地域コミュニティ形成支援の推進に対し意欲と情熱がある方（任期後も安平町内に住民票を置き、町のCFCI・教育・地域コミュニティ活動の推進に携わる将来像を描ける人物を求めています。）
- (5) 市町村税に滞納がない方。  
※現在お住まいの市町村役場から「市町村税の滞納がない証明書」を入手し、応募用紙とともに提出してください。
- (6) 採用決定後、令和7年6月3日までに住民票を安平町内に異動し、活動を開始できる方。
- (7) 土日や祝日などの活動にも対応できる方。

### <要件を補足する事項>

- 子どもの権利に関する見識を有する方や子どもたちへの学び/育ち支援の実績がある方を優遇します。
  - 隊員としての任期終了後を見据えて、町内での創業や就業に向けた支援メニューを用意しています。
- ※支援例：安平町内の空き店舗等を活用し起業する方には、安平町創業等支援事業補助金交付要綱に基づく補助金を活用することも可能です。（設備や什器に要する経費、建物の賃貸料、広告費などを合わせて250万円を上限に補助。詳細は要綱参照）

### 3. 身分と報酬

#### (1) 身分

当町の会計年度任用職員として任用いたします。本務活動に支障がない範囲において、兼業(副業)が可能です。

#### (2) 報酬 (予定)

月額191,920円 (活動時間は週31時間。期末・勤勉手当を含み年額3,185,872円) ※1

\*この額から社会保険料等の本人負担分が控除されます。

\*任用初年度の期末・勤勉手当は、在職期間が短いため手当率が減じられます。

\*この他に、家賃、車両燃料、研修等に係る補助を受けることができますので、4-(3)-③をご覧ください。

※1 安平町議会での関連予算の議決が前提となります。

### 4. 任用期間や待遇など

#### (1) 任用期間

任用日(令和7年4月1日予定、活動開始も4月1日を予定)から令和8年3月31日までとし、活動実績や活動内容等により、任用開始日から最長で3年間まで任用期間を更新します。

\*応募者の都合により令和7年4月1日からの活動開始が難しい場合は、最長で令和7年6月3日まで着任日の調整を検討いたしますので、面接時までには必ず申し出てください。

\*協力隊員としてふさわしくないと判断した場合等には、期間中であっても任用を取り消すことがあります。

#### (2) 活動時間など

①活動時間は、週31時間(7時間45分×4日間)を基準とします。必要に応じて土曜・日曜・祝日・夜間に活動する場合があります。(活動時間が基準を超過する日が生じるときは、超過分を別の活動日で調整(振替)します。)

②休暇は次のとおりです。

ア 年末年始休暇	12月29日から翌1月3日まで
イ 年次休暇	初年度は10日間の年次休暇を付与します。翌年度以降は労働基準法の規定に基づき付与します。
ウ 特別休暇等	公民権行使休暇、忌引休暇、結婚休暇など

#### (3) 福利厚生など

①社会保険等

健康保険、厚生年金、雇用保険に加入します。

②住居の紹介

町内民間アパートなどを紹介いたしますが、着任のタイミングにより、希望どおりの地区に居住できない場合がありますことを予めご留意ください。なお、家賃補助については、次の項目をご覧ください。

③地域おこし協力隊員活動費補助金

安平町では、地域おこし活動に要する経費に対して、予算の範囲内で隊員に対して助成を行います。なお、町への転居費用、生活用品、光熱水費などは個人負担となります。

[対象経費] 安平町地域おこし協力隊員活動費補助金交付要綱に基づき算定します。

- 住宅家賃補助（月額28,000円上限・算定式あり）
- 車両燃料経費補助（月額20,000円・定額）
- 活動必要品購入経費補助（年額48万円上限・実費相当）
- 自己研鑽研修経費補助（年額20万円上限・実費相当）

#### ④定住定着サポート

安平町では、着任時等における研修、定期的な面談による生活や業務における困りごと等の解消、任期後の起業・就業相談をはじめ、要望事項や町に対しては直接言いにくいようなことまで、第三者（連携企業）を通じて定住定着サポートを行っています。移住には不安がつきものですが、安心して飛び込んでください。

## 5. 応募手続など

### (1) 応募手続きなど

#### ①応募書類

- ・様式「地域おこし協力隊応募用紙」
- ・「市町村税の滞納がない証明書」
- ・レポート（任意様式）

レポートは、次のテーマに沿って800字～1,200字程度で作成してください。

\*レポートはパソコンでの作成可。

\*希望する募集区分のレポートテーマに沿って作成してください。

No.	募集区分	レポートテーマ
①	教育情報発信を通じたまちづくり [指定課題突破型]	安平町の掲げる「こどもにやさしいまちづくり」のビジョンと、あなた自身の経験が融合することで、教育情報発信を通じたまちづくりにおいて、どのような新しい価値が創造できているかを、ワクワクしながら考えてください。
②	高校魅力化コーディネーター [指定課題突破型]	安平町の掲げる「こどもにやさしいまちづくり」のビジョンと、あなた自身の経験が融合することで、教育まちづくりにおける高校魅力化の分野において、どのような新しい価値が創造できると考えているかを、ワクワクしながら考えてください。
③	あびら教育プラン推進員 [指定課題突破型]	安平町の掲げる「こどもにやさしいまちづくり」のビジョンと、あなた自身の経験が融合することで、教育まちづくりにおいてあびら教育プランが充実し、どのような新しい価値が創造できると考えているかを、ワクワクしながら考えてください。

#### ②応募方法・べ切

\*右記二次元バーコード、または下記URLから申し込みをしてください。

<https://www.harp.lg.jp/JzihRH1K>

応募申込みフォーム



\* 申し込みフォームに応募書類を添付しお申し込みください。

\* 受付期間：令和6年12月27日（金）～令和7年1月31日（金）17時15分

### (3) 応募者選考

\* 書類選考：2月上旬

- ・書類等により要件を満たすことを確認します。
- ・書類選考通過者に対し試験に関する時間帯等の詳細をメールで通知します。
- ・書類選考後、カジュアル面談を行う可能性があります。（実施の場合は通知します。）

\* 面接試験（現地対面もしくはオンライン）：2月12日（水）PM予定

- ・町長の公務等に変更となる場合があります。
- ・現地対面もしくはオンライン方式のいずれかを選択し受験していただきます。
- ・面接会場は、安平町役場総合庁舎（安平町早来大町95）です。
- ・面接選考の結果は、令和7年2月21日（金）までに通知します。

### (4) 全体スケジュール（再掲）

- ・募集開始 令和6年12月27日（金）
- ・応募〆切 令和7年1月31日（金）必着
- ・書類選考 令和7年2月上旬に結果を通知予定
- ・面接試験 令和7年2月12日（水）午後を予定
- ・結果通知 令和7年2月21日（金）までに通知予定
- ・任用日 令和7年4月1日（火）付けを予定（※）
- ・活動開始 令和7年4月1日（火）予定

（※任用日及び活動開始日の弾力的調整を希望する場合でも、6月3日までに住民票を安平町内に異動し、活動を開始できることを応募の要件にしておりますので、ご注意ください。）

### (5) 問い合わせ窓口

安平町教育委員会事務局学校教育グループ（担当：笹山）

〒059-1595 北海道勇払郡安平町早来大町95（安平町役場総合庁舎）

電話:0145-29-7036 FAX:0145-29-7030

メール:kosodate-tantou@town.abira.lg.jp